



発行所

新潟市江南区北山1037番地

新潟明訓高等学校同窓会

会長 渡辺 惇 夫

- 綱 領
- 一 母校愛精神の昂揚
 - 二 伝統保持と敬愛
 - 三 会員の連繋と相互扶助

ご挨拶

— 母校の文武両道の活躍に

誇りと自信を—



同窓会長

渡 辺 惇 夫

日増しに秋も深まり朝夕には寒さを感じる頃となり、今年も毎年恒例の同窓会総会開催の日を迎えることとなりました。

同窓会員の皆様には日々益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察し、心からお喜びを申し上げます。

常日頃は当同窓会の諸活動並びに母校の発展向上のために暖かいご理解とご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

お陰様で我が同窓会も多数の会員を擁し、

年々活動実績を積み上げ、その存在感を増しつつあり、母校の発展とともに内外に高い評価をいただいておりますことは我々の大きな喜びであり、誇りでもあります。

このことは偏に会員皆様の変わらぬ母校愛と、日頃のご協力の賜物であると共に、加えて学校ご当局の弛まぬご努力と関係者の皆様のご支援とご協力があることであり、ここに改めて深く敬意を表し感謝の意を表する次第であります。

今後我々は先輩各位の築いた輝かしい実績と母校の建学の精神を大切に継承しながら母校の卒業生としての誇りを持ち、同窓会と母校の発展のため努力していかねければなりません。

さて、ご承知のように我が母校は大正10年の創立以来、実に90有余年の歴史を有し、他校に誇れる立派な伝統と実績を積み重ねて参りました。そして近年では今後の新しい時代に対応し、更なる発展を期すために創設された新潟明訓中学校も8年目を迎え、中高6年間の一貫教育も着実に実績をあげ、難関大学への合格に挑戦し、着実に実績を挙げております。また、部活動に於きまして運動部、文化部共に各種大会等で大活躍をしております。

す。

このような最近の母校の在校生の皆さんの文武両道に秀でた活躍は、我々同窓生に対し新鮮な感動と勇気と自信、そして誇りを与えてくれており、感謝しております。

今、我が同窓会としても、これらの母校

の大活躍に相応しい体質の強化と組織の拡充発展が求められており、それにむけて努力しておるところであります。

幸いにも我が同窓会には年代を問わず多くの優れた人材が広く各界各層に於いて指導的立場で活躍しておられます。この多くの皆様から母校の現状を知りたいだくとともに、大きな関心を持っていただき、互いに同志的意識を更に高め、協力体制を確立することにより同窓会の活性化と発

展に繋げていかなくはなりません。

昨年は役員の若返りも実現し、今後の同窓会活動を新しい時代に合わせた運営を行うことでより一層の発展を目指して努力を重ねていくところであります。

今後共、同窓会員の皆様のご指導とご協力を心からお願い申し上げます。最後に母校のますますの発展と、同窓会の皆様の一層のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

グローバルなおつき合いとは



理事長

伴 昭 彦

同窓会員の皆様にはお元気で御活躍のこととお喜び申し上げます。キリスト教国では毎年秋の万聖節の前夜祭でハロウィンという子供中心のお祭りがあります。私はこのハロウィンと聞くと何年か

前にアメリカで留学していた日本人の高校生服部君が銃で撃たれて死亡した事件を思い出して悲しくなります。この事件は、ハロウィンの仮装をした服部君が道がわからなくなっている家で道を聞こ

うと思ひ門を入って玄関へ行く途中その家の主人から止まれと言われたのですが、それがよくわからなかったのか或いは道を聞くだけだから大したことでもないと思ったのかはわかりませんが、止まらずに玄関の方へ進んだところ発砲されて死亡したというのです。普通の日本人であれば武器を持っている訳でも何でもないハロウィンの仮装をした若い男を銃で撃つということは考えられない

ことだと思えます。この事件は刑事事件としては無罪となりました。私達の感じ方とは違うように思います。どうしてでしょうか。

嘗てアラビア北部まで攻め込んだモンゴル軍は、ロシアに侵入したとき命を助けてくれたら降伏すると申出た敵軍に命を助けるという書面を出しながら降伏して来た兵を一人残らず殺してしまい、ペルシャのメナガというところを攻略したときは全住民を虐殺した上、まだ生き残りがいるらしかったので捕虜に命じてモンゴル軍はもう退却したぞと叫んで歩かせ騙されて出て来た者も全部殺しました。

そのあと、ムタウワーにお祈りの呼びかけをさせ、これでやっと安心して出て来た信者をまた次々と殺したということ。本当かいな、と思うような話です。話半分としても物凄い話です。この様なヨーロッパや中東での「皆殺し」を経験した国の人達は、外来者は敵であり無条件で

信用したりすれば何もかも全部失うことになるということを身に沁みてわかっていいるのです。このような皆殺しの侵略を受けたことのない日本人は簡単に人を信じてしましますが、私達は欧米、中東の人達と同じつき合い方をしているものでしょうか。

ある人がアラビアのリヤドという町のホテルへ泊まり、外出から帰って来てフロントでもらった鍵で部屋をあけようとしたら鍵が違っていてあかなかったのでもう一度フロントへ行つてこの鍵であきませんでしたよと言ったところ、それはあなたが部屋の番号と違う

番号を言ったからだ、といわれたそうです。もし誤ってお皿を割ってしまったとき、日本人は、あつ、すみません、と簡単に言いますが、欧米・中東の人ではそうは言いません。この皿は今日割れる運命にあったのだ、俺は関係ない、と言うんだそうです。自分が割ったことを認めると、百円のお皿でも千円も一万円もふっかけられるからだそうです。

この地球上で日本人のような考え方の人は一割位だそうです。外国人とのつき合いは充分お気をつけ頂きたいと思ひます。



学校長
大滝 祐幸

グローバルに生きる 明訓は新潟から世界へ

昨年度のスクールス

ローガンは、「明訓は、東大も甲子園も・・・

も」を掲げました。

文武両道を今後も持つという決意であ

り、明訓生の目標とするということ。掲げたものです。残念ながら、甲子園は本当に後一步でありませんが、多くの部活動での全国大会出場し、明訓生の力は十分に発揮されました。

また、昨夏には、県内高校初の全教室での電子黒板システム導入を行い、教職員は授業改善に取り組み、大学進学実績も県内屈指の実績を上げることができました。

その基盤の上で、本年度のスクールスローガンを、「グローバルに生きる―明訓は新潟から世界へ―」としました。

昨年度から本格的にスタートした、このグローバル教育について紹介させていただきます。

グローバル教育については、まだ定義が固まっていけないというのが実情ですが、私は次のように考えています。

「グローバル教育とは、世界の現実に対して全ての人の眼と心を開かせ、全ての人のためにより大きな正義、平等、人権が必要である

ことへの気付きを促す教育のことである。」

そして、次のような仮説を大前提としています

1 人類のみが持つ目的志向性が、学ぶモチベーションの基盤であり、その目的志向性を最大にするものは「夢」と「他者への愛」である。

2 グローバル教育では他者のために働く心を育てることが出来る。(参考までに、夢はキャリア教育で育てる事ができると考えています。)

3 より大きな夢を実現させるにはより高い学力が必要となるが、高い学力が価値を持つのは「夢」と「他者への愛」を基盤とする場合である。

具体的には、高校では次のような取組を始めています。

- ・ 外国人をホームステイさせての体験的交流
- ・ 長期留学生の受入れ
- ・ 長期留学希望者への校内での説明会開催
- ・ 米国研修の実施
- ・ エンパワーメント・プログラムの実施

・ 外務省・財務省若手キャリア講座の実施

・ 模擬国連への参加

また、中高一貫コースでは、時間的余裕を活用して、次のような活動の中で明訓生、新潟県人、日本人としてのアイデンティティを身に付けさせることとしました。

・ 明訓の歴史を学ぶ

・ 亀田郷について学ぶ

・ 日本の文化を学ぶ

そのため、体験的学習として学校教育田等での農業体験、明訓の碑前での立志式と弥彦山登山、川岸町から北山への遠足、そして菅名岳登山を行います。

さらに、中学三年生と高校一年生での夏期エンパワーメントプログラム、5コース選択型の海外研修を行うとともに、

京都・奈良への修学旅行で日本人としてのアイデンティティを確認することとしています。

同窓生皆様のご支援をお願いしながら、このような様々な取組を行い、新潟・日本・世界を支える人材が育つてくれることを期待しております。

グローバル教育をめざして、 明訓高等学校より報告

第2回

「エンパワメントプログラム」の実施報告

グローバル教育係
久保達郎

平成26年8月4日～8日の5日間に渡って、第2回「エンパワメントプログラム」が実施されました。今年度は高校1年生53名、2年生13名と外国人留学生14名の合計80名が参加しました。今年度もカリフォルニア



大学バークレー校の学生や、東京大学に留学している学生を本校に招待し、5日間の英語漬けのプログラムを実施いたしました。留学生は本校生徒や学校長の自宅にホームステイをして、家族との交流を深めながら日本の文化を体験しました。今年度は昨年度よりもホームステイ期間を2日

長くしたため、週末の時間を利用して家族でかけがえのない思い出ができたという好評でした。このプログラムは英語を話せるようになることが目的なのであります。コミュニケーションツールである英語を用いて、グローバルな視点で物事を考え、自分の意見を発信するこ

とに重きが置かれています。生徒たちは留学生とグループを作り、ファシリテーターの先生の指導のもと、「アイデンティティー」「ポジティブシンキング」「日本の高齢化社会の諸問題」等のテーマについてディスカッションやプレゼンテーションを行いました。初めのうちは留学生の話をただただ聞きながら聞くという姿が多く見られましたが、日を追うごとに積極的に質問したり、自分の考えを今ある英語力を存分に使って表現するようになっていきました。最終日には個人個人で行うプレゼンテーションにも挑戦しました。5日間のプログラムで得た力を十二分に発揮したと素晴らしいものだったと留学生やファシリテーターの先生からコメントをいただきました。

プログラムが始まる前の生徒たちは不安でいっぱいでした。ホストファミリーを引き受けた家庭は生徒だけでなく、ご家族も期待と不安で胸がいっぱいだったかと思えます。しかし、プログラムの始まりと、相手の言うことを一生懸命に英語で理解しようとしたり、自分の思いを一生懸命に伝えようとしたりするうちに、英語漬けの生活にも徐々に慣れていきました。途中、プログラムの難しさに涙を流したり、挫折しそうなになった生徒もおりましたが、最終日には1番の笑顔を見せておりました。たった5日間という短い期間ではありましたが、生徒たちはかけがえのない経験をして大きく成長したと実感しており、まさにプログラム終了後に実施されたアンケートからも非常に満足度の高い結果が分かってきました。「英語を学ぶ意義を再認識した。」「もっと積極的に自信を持って生きようと思った。」「など、生徒たちは「ポジティブ」な感想を持っていました。また、ホストファミリーを引き受けてくださったご家庭からは、「子供が国を超えた友情を手に入れたことを嬉しく思う。」「子供の積極的な姿や心の成長を見ることができてよかった。」「子供だけでなく、家族全員に大きな影響を与えてくれ

た。ぜひまたホストファミリーを引き受けた。」「といったお声をいただきました。生徒だけでなく、その家族にも素晴らしい思い出を残してくれたようです。

今後、「エンパワメントプログラム」は明訓のグローバル教育の大きな柱の一つになるのだと確信しております。より多くの生徒がこのプログラムを通じて、グローバルな視点を持って物事を考え、世界を見つめられるように支援していきたいと考えております。プログラムに参加した66名の明訓生のこれからの成長と活躍が楽しみです。

アメリカ研修の報告

担当 小林一桜

今年の3月8日～18日の11日間、明訓高校は2回目のアメリカ研修を実施しました。訪問先は、アメリカ合衆国建国の地であるボストンと、国際政治の中心であるニューヨークです。研修の目的は、世界的な視野で進路選択

の幅を広げて学習意欲を高めること、英語というツールを用いて異文化理解をはかるとともに日本文化を再認識する契機とすること、そして、主体的に考え、仲間と協力する力を高めることです。英語の試験および学校生活の状況を加味して選抜された35名の1年生（現2年生）が参加しました。初日は長時間に及ぶ移動でありましたが、生徒たちは期待に満ちあふれた様子で、疲れたそぶりも見せず、無事にボストンに到着しました。2日目以降は、班別自主研修、5日間に及ぶ語学研修、そして、マサチューセッツ工科大学とハーバード大学への訪問など、さまざまな活動に精力的に取り組んでいました。8日目にニューヨークへと移動し、2日間かけて世界貿易センタービル跡地「グラウランドゼロ」、エンパイアステートビル、メトロポリタン美術館などを見学しました。また、ニューヨークで働く日本人を招いて夕食会を実施しました。生徒たちはこの研修を通じて

積極性をみせるようになり、生徒と話者との距離が日毎に縮まって

いき、質問の数がどんどん増えていったことは印象的でした。



「グラウンドゼロ」にて

体力的にも精神的にも厳しい研修でありましたが、事故もなく、体調を崩す生徒もおらず、無事に帰国しました。新潟

平成26年関西新潟明訓会 総会・懇親会を開催

関西新潟明訓会平成26年度総会が10月4日(土)午後12時30分より大阪市都島区綱島町の「太閤園」で開催されました。

同窓会本部からは大倉副会長、首都圏からは秋葉会長が出席。学校からは竹之内副校長がご出席され、総勢21名での開催となりました。

総会は本間会長の挨拶ではじまり、来賓祝辞として大倉副会長、秋葉首都圏会長、竹之内副校長からは母校の近況報告をいただきました。その後、会務、会計報告。平成26年度予算が審議され、すべて承認されました。総会終了後の懇親会で

は、母校の近況を編集したDVDの上映、恒例となった新潟の銘酒「越乃寒梅」が振舞われ、参加者相互の交流を深め楽しいひと時を過ごしました。終わりに、校歌を声高らかに斉唱して次回の再会を約束し閉会となりました。

今年の初参加者は1名にとどまりましたが、遠路愛知県からの参加という事で大歓迎されました。関西新潟明訓会では、関西圏にお住いの同窓生約120名に案内を郵送していま



空港に降り立ったときの生徒たちの表情は、精悍で、新たな決意に満ちたように見え、非常に頼もしく感じました。帰国後には、生徒たちは、この研修を振り返って報告書を作成

すが、毎年の出席者が固定化されつつあり、出席者数が伸び悩んでいる状況です。早急に関西圏の同窓生情報を整理して、今までは違った角度からのアプローチで新会員の掘り起こしを進めていく予定です。

関西圏にお住いの同窓生の皆様、是非一度、関西新潟明訓会にご参加ください。お待ちしております。

連絡先：(幹事)阿部邦義
〇九〇一五九〇二二九九三

しました。そして、これまで以上に日常の学習活動に主体的に取り組む、自己実現のため努力をしていることはもちろん、生徒会に入ったり、クラス委員になったり、学校やクラ

スのリーダーとして活躍し始めています。今後、彼らがどのように成長していくのか、そして、周囲の生徒に好影響を与えていけるか、期待したいです。

第26回首都圏新潟明訓会総会・ 懇親。パーティー開催

「平成25年度第26回首都圏新潟明訓会総会・懇親パーティー」が、平成25年11月17日(日)午後1時から、ANAインターコンチネンタルホテル東京で行われました。

この数日前に、キャロライン・ケネディー氏がすぐ近くのアメリカ大使館に着任したばかりで、大使館前では、警備が少し厳重な様子でした。



懇親会風景

本部同窓会からは渡辺会長、渡邊(淳)・林両副会長、関西新潟明訓会からは阿部副会長が出席。学校からは大滝祐幸校長先生が来賓として出席くださり、この年の卒業生12名を含む、総勢77名での開催となりました。

星野陽一(S51年卒)・新井 順(S59年卒)両氏の司会で、秋葉正樹会長(S46年卒)の挨拶。

その後、来賓の方々から、ごあいさつをいただいた後、前首都圏新潟明訓会会長 後藤 強さん(S29年卒)の音頭で乾杯し、歓談へ



中高一貫教育第1回卒業生の自己紹介

と進行しました。本部から持参の「越乃寒梅」も振舞われ、恒例の熊倉由美さん(S56年卒)によるジャズタイムも素敵なお楽しみでした。その後、母校教員の、渡邊(淳) 本部同窓会副会長の呼びかけに答えて参加してくださった、中高一貫教育第1回卒業生(平成25年卒、大学1年生)12名の自己紹介があり、若い同窓生のパワーに、会場の同窓生みんなが、感激した瞬間でした。続いて、初参加者の自己紹介、平成25年卒の応援団長の指揮による校歌斉唱と続き、村上哲昭副会長(S46年卒)の閉会の挨拶ののち、お開きとなり、福引で当たった景品を、大切そうに抱えて、それぞれの帰途につきました。

学 校 高 案 内

過去5年間の合格者推移

国公立大学	2010		2011		2012		2013		2014	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
北海道			2	1	6		1		3	2
東北	1	1	3	1	2		3		13	
山形	2	3	7		7	1	4		4	1
福島	2		4		2		1		1	
筑波	1		4		3		4		4	2
埼玉	1		2		2		2	1	7	1
千葉	2		1				5		4	
お茶の水	1	1					1			
電気通信			1				1			
東京							3		1	
東京学芸			1		3		4			
東京農工	1	1	1	1						
東京工業					1		2			
一橋		2							2	
横浜国立	3				1		1		1	1
新潟	58	9	36	12	67	6	51	8	54	7
長岡技術科学	1		3		2		1		1	
上越教育		1	3	1	2		3	2	1	1
富山	1		2		3	1	1		2	
金沢	3	1	1		2	2	1	1	3	
信州			2		3		1		3	
京都		1		1			1		1	
大阪							1		2	
高崎経済	1	1	10		5	3		1	7	
首都大東京	2			1	2	1	3		2	2
横浜市立							3			
新潟県立	15	4	15	2	21	4	21	3	36	2
新潟県立看護	6		4		5		4	1	2	2
都留文科	1		1				1		2	
その他	12	1	18	4	17	4	18	4	36	6
小計	114	26	121	25	155	22	142	21	192	27
国公立合計	140		146		177		163		219	

私立大学	2010		2011		2012		2013		2014	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
自治医科							2			
早稲田	4	2	8	6	1	3	13	2	9	2
慶応			4	3			2		9	
上智		1		1			3		3	3
東京理科	5		3	3	4	4	3	1	12	1
明治	13	4	13	3	8	1	16	4	23	2
立教	10	6	15	7	7	2	14	1	8	5
青山学院	1	1	9	4	7		5	1	11	1
中央	20	4	17	2	18	2	12	5	24	6
法政	12	4	10	5	9	3	11	7	28	9
学習院	1		2	3	1		4	1	1	
東京農業	3	2	5	2	1	2	3	1	5	1
津田	2	1					2			
北里	5	2	4	1	4	2	4	1	4	1
芝浦工業	7	3	3	1	3	3	3		9	5
成蹊	2	1	4	4	2		2	1	5	3
成城	4	1	2	1		2	4		2	1
日本	28	15	28	4	45	2	35	5	33	14
東洋	10	5	18	5	14	5	18	1	19	3
駒沢	12	3	10	7	20	4	20	3	16	4
専修	20	1	11	3	16	4	18	1	24	5
明治学院	8	2	7	3	6	2	11	2	6	5
獨協			6	2			9	7	4	2
神奈川	18	1	9	4	18	3	7	1	16	3
新潟薬科	21		28		27		29	3	21	2
同志社	4		5	1	2	3	7		9	2
立命館	3		5	2	4	5	12	2	11	7
関西	2		4		1		1		1	2
関西学院	2		1				1			
その他	240	41	205	40	289	33	248	33	278	49
小計	457	100	436	117	507	85	519	83	591	138
私立合計	557		553		592		602		729	

進学指導部
難関大学の現役合格
過去最高の入試結果
国立医学科現浪7名進学

最近の入試状況と 本校の概況

全国の入試状況
昨年のセンター試験は国語の平均点が初の50%割れとなりました。900点満点の平均は、文系は532点にとどまり、理系は568点となり、文系は例年より低く、理系は例年並となりました。
国立大学入試は、2次試験出願数が48.0万

人と一昨年比0.6万人減となり、志願倍率4.8倍となりました。
来年から新課程入試となり、今年しかないという意識から安全・慎重な出願になりました。文低理高もより鮮明になっています。
私立大学入試は、安全志向の影響で、私立大の併願校が増加しま

平成26年度 大学入試 (現役)	東京	京都	北海道	東北	名古屋	大阪	九州	東工	一橋	筑波	難関大合計	新潟医学科	早稲田	慶応
合計	1	1	3	13		2			2	4	26	2	9	9
Iコース				8		1			1	3	13	1	2	4
IIコース													1	1
IIIコース														
IVコース	1	1	3	5		1			1	1	13	1	6	4

本校の入試状況
本校のセンター試験の結果は、文系では561点、理系571点と大変健闘いたしました。
合格数は、前年に続き大変すばらしい結果となりました。現役では、国立大学192名合格は過去最高の結果となりました。

なりました。東京大1、京都大1、一橋2、北海道大3、東北大13、大阪大2、筑波大4、新大医学科2、早稲田大9、慶應大9など難関大学合格者数も、コース問わず健闘し、こちらも、過去最高の入試結果となりました。また、国立医学科へ現浪合わせて7名進学し、県内2位の進学数となります。
生徒が明訓の指導を信じ、目的意識・志望が明確であり、最後まで諦めることなく、当たり前の学習(予習、授業、復習)を地道に行い、入試問題に対して、どのように取り組めば合格できるのかを具体的に考え学習した結果であると考えます。
在校生は、この結果を励みとし、学習への取り組み方を学び、27年度入試にむけて勉学に励んでいます。現在、現役高校3年生は最初の関門であるセンター試験を目指し頑張っています。同窓生の皆様も暖かい目で見守って頂きたいと思ひます。

体育祭

今年は、中高合同の縦割りで開催!

総合優勝は「ピンク連合」!

去る9月9日、今年度で6回目となる平成26年度体育祭が、晴天のもと盛大に開催されました。

今年度の体育祭を一言で総括するなら「一体感」に尽きます。

（黒軍・ピンク軍・オレンジ軍）にし、中高合同の連合で総合優勝を目指しました。高校生が中学生を、中学生が高校生を応援する場面の数々。中高一貫の名にふさわしい一体感が、終日フィールドを包み込みました。

また、新競技「背中渡りレース」は、全員参加型の学年別クラス対抗で実施されました。クラス対抗の種目はこれまで代表生徒だけで行われるリレーのみ。また、全員参加型の種目そのものが初の試みでした。明訓祭（文化祭）だけでなく、体育祭でもクラスの一体感を味わうことができました。また、1学年およそ400人の生徒たちが一斉に走り出す光景は壮観で、戦国時代の合戦を彷彿とさせました。

ほとんどの競技が予定時間通りに進行したのも特筆すべきことです。「予定時刻は、予定ではなく目標です」——総合優勝とは別に、連合の枠を超えた全員共通の一つの目標に向かって「バトン」をつなぎました。

閉会式最後は、連合長3人の呼びかけによるサプライズ。全校生徒が手に持ったキャップを宙に向かって一斉に投げました。連合長の突然の呼びかけに、およそ1,600人が応じるこの一体感。放たれた3色のキャップは、校訓「自治・協力・奉仕」の象徴であるかのように、夕方近い青空に映え渡りました。



クラス対抗リレー



新競技「背中渡りレース」



応援風景



閉会式最後のサプライズ「キャップ投げ」

平成二六年度 明訓祭

平成26年6月8日開催

去る6月8日(土)に恒例の明訓祭が盛大に行われました。

毎年少しずつですが、昨年の反省を活かしながら、できるだけ生徒の手による文化祭を実施しています。今年の改革としては、リパティスクエアの決勝戦を前日ではなく本祭(8日)に移行し一般公開したこと、前日の開会式では、オープニング企画として、各クラスのダンス動画をつなぎ合わせ、ある1曲のダンス動画を作り開会式で紹介したこと、その他パンフレットや各クラス企画内容紹介プリントなども生徒会の生徒が中心となって作成しました。

クラス企画の最近の特徴として、映画部門が非常に激戦となっていて、内容も年々工夫がされて見応えのあるものが多くなっています。さらに今年は特に、教室展示部門の企画に秀逸な内容が多

かったのが印象的でした。本番に強い明訓生としての特徴が最大限に発揮された行事となりました。

主な結果は次の通りです。

- ☆明訓大賞
二年十一組(映画部門)
- ◎教室展示 一年一組
 - ◎教室演劇 三年二組
 - ◎ステージ 三年一組
 - ◎屋外アート 三年九組・十組
 - ◎映画 二年二組
 - ◎奨励賞 一年八組
 - ◎特別賞 三年五組
 - ☆中学部最優秀賞 三年調べ学習



屋外アート 3年9組・10組

思い出残る 修学旅行

10月15日(水)から3泊4日で高校第2学年部Ⅰ・Ⅱコースの修学旅行が実施されます。例年、夏休み直後の8月下旬でしたが、今年度は、自身の進路選択とより結びつきを強めようと考え、時期を変更して行います。今年は、次のような目的で実施されます。

「世界に向けての発信力を持ち、国家や地域社会に貢献できる人材を育成する」ということが本校の教育目標の一つである。これに加え、2学年2学期とは、校内におけるリーダーとしての振るまい、行動が求められ始め、生徒各自が将来の自己実現に向かい始める時期でもある。これらを考慮して、東京では生徒各自の関心にあわせる形で企業研修を行い、神戸では震災学習として阪神淡路大震災から復興を遂げた様子を学

び、そして、京都では日本で暮らす者として歴史文化を体感する。こうした学習活動を通じて、リーダーとしての自覚を促し、広く大きな視点で日本を捉えさせることを目的とする。

日程は、1日目に東京にて企業研修(12コースの中から選択)とカタリバ授業(「NPOカタリバ」のホームページをご覧ください)、2日目に神戸にて震災学習(「人と未来防災センター」見学後、「北野地区異人館等」・「兵庫耐震工学研究セ

ンター」・「野島断層」のいずれかを見学)、3日目は神戸から京都へ班別自主研修、4日目は京都・奈良にてクラス別体験・見学を予定しています。

平成26年度 部活動報告

【運動部】

◎剣道部

《第67回新潟県高等学校総合体育大会
剣道競技大会 6/6/7
新潟市東総合スポーツセンター》

・男子団体 第3位
・女子団体 第3位
・男子個人 第5位

↓北信越高等学校剣道大会
青山 恭太

に出場
男子個人
準優勝 早川 郁也
↓全国高等学校総合体育大会に出場

《第52回北信越高等学校総合体育大会剣道競技大会 6/20〜22

長野市真島総合スポーツアリーナ

・男子団体 ベスト8
・女子団体 予選リーグ敗退
・男子個人
青山 恭太 2回戦敗退
早川 郁也 1回戦敗退

《平成26年度全国高等学校総合体育大会 8/1〜4

小田原市総合文化体育館

早川 郁也 2回戦敗退

◎陸上競技部

《新潟県総合体育大会陸上競技大会 5/24〜27 新潟市陸上競技場》

男子

・砲丸投げ
第1位 菊池 圭平
800 M
第2位 花岡 一臣
4×1000 M R

第2位
大橋尚之・神保貴史・
小林 廉・林 和正
4×400 M R
第5位
小熊崇矢・熊谷亮汰・
阿部 観・花岡一臣
100 M
第4位 大橋 尚之
110 M H
第4位 早福 由晴
8種競技
第5位 青木 太郎
400 M

女子
第6位 花岡 一臣
1500 M
第1位 土田 佳奈
第6位 五十田 楓
第7位 矢川 瑚都
3000 M
第1位 土田 佳奈
円盤投
第1位 森川絵美子
800 M
第2位 土田 杏奈
4×400 M R
第2位
巻口美穂・鈴木多恵・
山崎里香・高橋佳奈
400 M H
第4位 鈴木 多恵
第7位 山崎 里香
4×100 M R
第5位
巻口美穂・鈴木多恵・
高橋佳奈・大沼桃香
100 M H
第6位 山崎 里香
計19の入賞。27名が北信
越大会出場権獲得。

《北信越高等学校総合体育大会陸上競技大会》

男子

・砲丸投げ
第1位 菊池 圭平
8種競技
第1位 青木 太郎
800 M
第2位 花岡 一臣
100 M
第3位 小林 廉
第6位 大橋 尚之
第7位 林 和正
400 M
第3位 花岡 一臣

第5位 熊谷 亮汰
4×100 M R
第3位
大橋尚之・神保貴史・
小林 廉・林 和正
4×400 M R
第3位
山本明日香・熊谷亮汰・
阿部 観・花岡一臣
110 M H
第4位 早福 由晴
200 M
第6位 神保 貴史
ハンマー投
第8位 菊池 圭平
女子
第1位 土田 佳奈
1500 M
第4位 矢川 瑚都
第5位 五十田 楓
3000 M
第1位 土田 佳奈
円盤投
第1位 森川絵美子
4×400 M R
第2位
巻口美穂・鈴木多恵・
山崎里香・高橋佳奈
800 M
第3位 土田 杏奈
100 M H
第3位 山崎 里香
第6位 鈴木 多恵
4×100 M R
第4位
巻口美穂・鈴木多恵・
山崎里香・高橋佳奈
400 M H
第4位 鈴木 多恵
第5位 山崎 里香
砲丸投
第5位 森川絵美子
やり投

第5位 小野塚未夏
400 M
第6位 高橋 佳奈
200 M
第7位 大沼 桃香
計28の入賞。36名が県大会
出場権獲得。

《全国高校総合体育大会陸上競技大会 7/30〜8/3 山梨中銀》

男子

・砲丸投げ
第8位 菊池 圭平
800 M
準々決勝進出
花岡 一臣
4×100 M R
準々決勝進出
大橋尚之・熊谷亮汰・
小林 廉・林 和正
女子
第7位 森川絵美子
円盤投

《平成26年度春季新潟地区サッカー大会 5/6〜8

本校グラウンド・鳥屋野球場》

1回戦 シード
2回戦 対 新潟南高校
5-0
準々決勝 対 江南高校
1-0
準決勝 対 北越高校
1-0
決勝 対 新潟西高校
0-1
第2位 総体出場権獲得

◎サッカー部

《平成26年度新潟県高等学校総合体育大会サッカー大会 5/22〜6/1

鳥屋野球場・聖龍スポーツセンター・五十公野公園陸上競技場》

《第96回全国高等学校野球選手権新潟大会 7/10〜27

ハードオフエコスタジアム 他》
2回戦 対 東京学館新潟
10-0 (6回コールド)
3回戦 対 五泉
1-1

《第130回北信越地区高等学校野球新潟県大会 4/26〜5/12

鳥屋運動公園野球場 他》
2回戦 対 加茂暁星
3-1
3回戦 対 白根
8-0 (7回コールド)
4回戦 対 高田商
8-2
準々決勝 対 糸魚川白嶺
4-1
準決勝 対 新潟産大附
7-0 (7回コールド)
決勝 対 日本文理
0-3
準優勝

◎野球部

《第131回北信越地区高等学校野球新潟県大会 9/11〜28

鳥屋運動公園野球場 他》
1回戦 対 新発田商
3-0
2回戦 対 佐渡総合
12-4
3回戦 対 白根
4-1
4回戦 対 小出
3-4
ベスト16

《第130回北信越地区高等学校野球新潟県大会 9/11〜28

鳥屋運動公園野球場 他》
2回戦 対 加茂暁星
3-1
3回戦 対 白根
8-0 (7回コールド)
4回戦 対 高田商
8-2
準々決勝 対 糸魚川白嶺
4-1
準決勝 対 新潟産大附
7-0 (7回コールド)
決勝 対 日本文理
0-3
準優勝

《第130回北信越地区高等学校野球新潟県大会 9/11〜28

鳥屋運動公園野球場 他》
2回戦 対 加茂暁星
3-1
3回戦 対 白根
8-0 (7回コールド)
4回戦 対 高田商
8-2
準々決勝 対 糸魚川白嶺
4-1
準決勝 対 新潟産大附
7-0 (7回コールド)
決勝 対 日本文理
0-3
準優勝

《第130回北信越地区高等学校野球新潟県大会 9/11〜28

鳥屋運動公園野球場 他》
2回戦 対 加茂暁星
3-1
3回戦 対 白根
8-0 (7回コールド)
4回戦 対 高田商
8-2
準々決勝 対 糸魚川白嶺
4-1
準決勝 対 新潟産大附
7-0 (7回コールド)
決勝 対 日本文理
0-3
準優勝

《第130回北信越地区高等学校野球新潟県大会 9/11〜28

鳥屋運動公園野球場 他》
2回戦 対 加茂暁星
3-1
3回戦 対 白根
8-0 (7回コールド)
4回戦 対 高田商
8-2
準々決勝 対 糸魚川白嶺
4-1
準決勝 対 新潟産大附
7-0 (7回コールド)
決勝 対 日本文理
0-3
準優勝

《第130回北信越地区高等学校野球新潟県大会 9/11〜28

鳥屋運動公園野球場 他》
2回戦 対 加茂暁星
3-1
3回戦 対 白根
8-0 (7回コールド)
4回戦 対 高田商
8-2
準々決勝 対 糸魚川白嶺
4-1
準決勝 対 新潟産大附
7-0 (7回コールド)
決勝 対 日本文理
0-3
準優勝

(延長10回降雨コールド)
再試合 対 五泉
6-2
4回戦 対 豊栄
9-1 (7回コールド)
準々決勝 対 新潟県央工
3-0
準決勝 対 関根学園
2-5
ベスト4

《第131回北信越地区高等学校野球新潟県大会 9/11〜28

鳥屋運動公園野球場 他》
1回戦 対 新発田商
3-0
2回戦 対 佐渡総合
12-4
3回戦 対 白根
4-1
4回戦 対 小出
3-4
ベスト16

《第130回北信越地区高等学校野球新潟県大会 9/11〜28

鳥屋運動公園野球場 他》
2回戦 対 加茂暁星
3-1
3回戦 対 白根
8-0 (7回コールド)
4回戦 対 高田商
8-2
準々決勝 対 糸魚川白嶺
4-1
準決勝 対 新潟産大附
7-0 (7回コールド)
決勝 対 日本文理
0-3
準優勝

《第130回北信越地区高等学校野球新潟県大会 9/11〜28

鳥屋運動公園野球場 他》
2回戦 対 加茂暁星
3-1
3回戦 対 白根
8-0 (7回コールド)
4回戦 対 高田商
8-2
準々決勝 対 糸魚川白嶺
4-1
準決勝 対 新潟産大附
7-0 (7回コールド)
決勝 対 日本文理
0-3
準優勝

《第130回北信越地区高等学校野球新潟県大会 9/11〜28

鳥屋運動公園野球場 他》
2回戦 対 加茂暁星
3-1
3回戦 対 白根
8-0 (7回コールド)
4回戦 対 高田商
8-2
準々決勝 対 糸魚川白嶺
4-1
準決勝 対 新潟産大附
7-0 (7回コールド)
決勝 対 日本文理
0-3
準優勝

《第130回北信越地区高等学校野球新潟県大会 9/11〜28

鳥屋運動公園野球場 他》
2回戦 対 加茂暁星
3-1
3回戦 対 白根
8-0 (7回コールド)
4回戦 対 高田商
8-2
準々決勝 対 糸魚川白嶺
4-1
準決勝 対 新潟産大附
7-0 (7回コールド)
決勝 対 日本文理
0-3
準優勝

《第130回北信越地区高等学校野球新潟県大会 9/11〜28

鳥屋運動公園野球場 他》
2回戦 対 加茂暁星
3-1
3回戦 対 白根
8-0 (7回コールド)
4回戦 対 高田商
8-2
準々決勝 対 糸魚川白嶺
4-1
準決勝 対 新潟産大附
7-0 (7回コールド)
決勝 対 日本文理
0-3
準優勝

《第130回北信越地区高等学校野球新潟県大会 9/11〜28

鳥屋運動公園野球場 他》
2回戦 対 加茂暁星
3-1
3回戦 対 白根
8-0 (7回コールド)
4回戦 対 高田商
8-2
準々決勝 対 糸魚川白嶺
4-1
準決勝 対 新潟産大附
7-0 (7回コールド)
決勝 対 日本文理
0-3
準優勝

《新潟県高校総体弓道大会》

5/31/6/2

長岡市市民体育館弓道場

・団体女子 準優勝

古田島花菜・多賀優華・

百瀬生萌・山岸里菜・

岡田夢奈

↓北信越大会の出場権獲得

(2年連続3回目)

・団体男子 第5位

川上順也・剣物真成・

中田一基・石川 諒・

大嶋 陸・田辺拓海・

松本 諒

・個人男子 第3位

剣物真成

《第44回北信越高等学校

弓道大会 6/20/22

長野県長野運動公園弓道場》

・女子団体

百瀬・古田島・山岸・

岡田・多賀

・男子個人

↓40射15中(予選敗退)

剣物 真成

↓4射3中(予選敗退)

◎バドミントン部

《春季地区体育大会

新潟地区バドミントン大会

5/4/5 新潟西高校(男子)

・男子ダブルス

ベスト32

桑野・長谷川ペア

2回戦敗退

江部・井上ペア

齋藤・神田ペア

堀川・渡部ペア

羽田野・山本ペア

・男子シングルス

初回戦敗退

桑野公成、堀川将太

2回戦敗退

江部圭祐、齋藤正昂

ベスト32

井上 奨

《春季地区体育大会

新潟地区バドミントン大会

5/4/5 西川竹園高校(女子)

・女子ダブルス

初回戦敗退

神丸・本間ペア

田原・五十嵐ペア

昆・吉田ペア

飛鳥井・佐久間ペア

ベスト32

清水・藍木ペア

・女子シングルス

初回戦敗退

藍木爽香、本間理紗

2回戦敗退

吉田萌花

ベスト32

神丸玲菜、清水結希

《第67回新潟県高等学校

総合体育大会 5/30/6/1

長岡市北部体育館》

男子

1回戦 対 糸魚川白嶺

3-0

2回戦 対 高田

0-3

《第67回新潟県高等学校

総合体育大会 6/6/8

リージョンプラザ上越》

女子

2回戦 対 佐渡総合

3-1

3回戦 対 関根学園

3-2

4回戦 対 日本文理

0-3

《第229回新潟支部

高校1、2年生大会 8/19

五泉市総合体育館》

・男子B級シングルス

ベスト16

神田基生

《第30回新潟県高校1、2年生大会

8/20/21 五泉市総合体育館》

・男子ダブルス

ベスト32

井上 奨・堀川将太

3回戦敗退

渡部雅也・齋藤正昂

・女子ダブルス

ベスト32

藍木爽香・吉田萌花

・女子シングルス

ベスト32

藍木爽香

2回戦敗退

清水結希

《全日本ジュニアテニス選手権大会

下越地区予選大会 4/12/13

新潟市五十公野テニスコート》

・男子シングルス

ベスト4

向井諒成

ベスト8

林 宏紀

ベスト16

杉山廉太

小川 亮

・男子ダブルス

準優勝

向井・西潟組

ベスト4

杉山・林組

ベスト16

荒井・遠藤組

優 勝

ベスト8

向井諒成

ベスト16

林 宏紀

杉山廉太

西潟 透

県大会出場

県大会出場

向井・西潟組

ベスト8

向井・西潟組

県大会出場

尾崎留唯

・女子シングルス

第3位

尾崎留唯

・女子ダブルス

ベスト8

尾崎・江田ペア

県総体出場

《新潟県高等学校総合体育

テニス大会 5/30/6/1

南魚沼市大原運動公園テニスコート》

・男子シングルス

ベスト32

向井諒成

・男子ダブルス

ベスト16

向井・西潟組

2回戦 対 新潟南

3-0

3回戦 対 長岡工業

0-2

《第69回国民体育大会

テニス競技新潟県選考会 7/5/6

南魚沼市大原運動公園テニスコート》

・女子シングルス

ベスト32

尾崎留唯

1回戦敗退

尾崎留唯・江田諒子組

《平成26年度下越地区高校新進

テニス大会 7/31/8/1

胎内市国際交流テニスコート》

・女子ダブルス

ベスト8

尾崎留唯・橋爪ひなた

・女子シングルス

第1位

尾崎留唯

ベスト8

江田諒子

《第37回全国選抜高校

テニス大会一次予選

8/20/21 新潟市庭球場》

・女子

第3位

《全国選抜高校テニス大会一次予選

8/20/21 新潟市庭球場》

・男子団体

2回戦 対 巻

3-2

3回戦 対 新潟第一

0-3

5位-8位決定戦

対 新潟東

3-1

対 新潟江南

3-0

《新潟県高等学校春季地区体育大会

水泳競技大会 5/22

西海岸市営プール(屋内)》

男子

50M自由形

第7位

吉野万作

《新潟市中学校体育大会

水泳競技大会 6/10/11

西海岸公園市営プール》

男子

50M自由形

第7位

・100M自由形

第8位

佐藤 公平

《新潟市高等学校体育大会

6/13/15 上越市市民プール》

入賞者なし

《新潟地区中学校体育大会

水泳競技大会 7/2/3

西海岸公園市営プール(屋外)》

・男子50M自由形

第8位

佐藤 公平

《平成26年度新潟県高等学校

春季ハンドボール地区大会

4/26/27 新潟県調高校》

・1回戦

新潟明訓 対 新潟江南

39-6

準決勝

新潟明訓 対 柏崎工業

30-19

決勝

新潟明訓 対 長岡大手

25-9

優勝

《新潟県高等学校総合体育大会

ハンドボール競技大会兼

全国高等学校総合体育大会

新潟県予選会 6/7/8

長岡市みしま体育館》

・準決勝

対 柏崎工業

33-24

決勝

対 長岡大手

26-20

優勝

第50回北信越高校選手権

出場

全国高等学校総合体育大

会出場

《平成26年度北信越高等学校
体育大会 第50回北信越高等学校
ハンドボール選手権大会 6/20〜22
いしかわ総合スポーツセンター》

1回戦 対 小松明峰
23―28

《平成26年度全国高等学校
総合体育大会 7/31〜8/3
川崎市とろろきアリーナ》

1回戦 対 松江工業
28―17
2回戦 対 徳島市立
26―41

《第35回北信越国民体育大会
ハンドボール競技会 8/22〜24
小松総合体育館》

1回戦 対 長野県
新潟県
20―25
(吉原大輝が参加)

◎バレーボール部

《新潟地区春季
バレーボール大会 4/28
新潟市横越総合体育館》

男子
・1回戦 対 巻総合
2―1
・2回戦 対 東京学館新潟
0―2

◎バスケットボール部

《第67回新潟県高等学校総合体育大会
バスケットボール競技大会 6/5〜7
新潟県立新発田競技場 他》

◎卓球部

《春季新潟地区高校卓球大会
5/5〜6 新潟市鳥屋野体育館》
・男子シングルス
ベスト32 八木
ベスト32 池田
2回戦敗退

白川・市村・山崎
1回戦敗退
浅見・本間・小林
女子シングルス
ベスト16 小池
2回戦敗退 竹舎
1回戦敗退 竹村

男子団体
2回戦敗退 対 江南
0―3
女子団体
1回戦敗退 対 新潟
2―3

《春季新潟県高校卓球大会
5/27〜29 長岡市市民体育館》

男子ダブルス
市村・宮下 1回戦敗退
白川・八木 2回戦敗退
女子ダブルス
小池・竹舎 2回戦敗退
女子シングルス
小池 1回戦敗退

◎ダンス部

《第67回新潟県高等学校
総合体育大会 6/1
新発田市市民文化会館》
優秀賞

《第27回全日本高校・大学
ダンスフェスティバル(神戸)
8/6〜9 神戸文化ホール》
創作コンクール部門
(高校の部)
審査員賞

【文化部】

《平成26年度新潟県高文連第23回将棋
大会兼第38回全国高総文祭県予選
5/23〜24 新潟会館、
新潟市中央区周辺》

・特選 田辺祐実
・奨励賞 土屋 遼、
山本聡一郎、栗原志穂
入選 和田正平

《平成26年度新潟県高文連
春季囲碁大会 5/11
新潟高等学校》

・個人戦
ベスト8 相場
・団体戦
優勝 磯野・杵鞭・平
・第38回全国高等学校総合文
化祭に出場

《平成26年度新潟県高文連
春季囲碁大会 5/25
新潟高等学校》

・木村桜子
(Fブロック 3勝3敗
14級認定)

《第61回NHK杯全国高校
放送コンテスト新潟県予選 6/8》

・アナウンス部門
第3位 松本 侑紀
第4位 笛木 瑞穂
・朗読部門
第1位 鈴木 夢乃
第2位 青木 かな
第3位 高橋 光
第6位 永松 梨奈
奨励賞 山本裕次郎
・ラジオドキュメント部門

第2位

「日の丸を背負う高校生」
3年9組 喜藤雄介が中
心に制作
・テレビドキュメント部門
奨励賞
「彼は有名人になった。」

3年10組 川内弘志が中
心に制作
・ラジオドラマ部門
第2位
「自分本願へ」

2年7組 畑山美穂が中
心に制作
・テレビドラマ部門
第1位
「少年Aの悩み」

3年9組 稲葉 陽が中
心に制作

明訓初の全部門から全国大
会へ参加。

《第61回NHK杯全国高校
放送コンテスト 7/21〜24
右記メンバーが出場するも
全て準々決勝敗退

《第38回全国高等学校
総合文化祭茨城大会 7/30〜31
・アナウンス部門
片桐美乃里
・朗読部門
青木 かな
・AP部門
石黒達也、稲葉 陽
川内弘志
が出場するも予選敗退

全国大会への道

陸上競技部 インターハイに出場して

陸上競技部 熊谷 亮汰

7月30日から8月3
日まで山梨県の山梨中
銀スタジアムで行われ
たインターハイに8種
目17名が出場しまし
た。結果は女子円盤投

で第7位、男子砲丸投
で第8位に入賞し、昨
年に引き続き、2年連
続でインターハイに入
賞することができまし
た。さらに、その他で

も男子800mと男子
4×100mリレーの
2種目で準決勝に進出
するなど、全国の舞台
で健闘することができ
ました。

特に投擲2種目で全
国入賞できたインター
ハイ3日目はインター
ハイに出場できなかった
部員も応援に駆けつ
けてくれ、チーム全体
での応援で選手を後押
しできました。競技中、
選手が投げる一投一投
にチーム全体が想いを
込めて、声援を送りま
した。それは会場全体
を明訓色に染めるほど
のもので心地よい時間
でもありました。

自分としては4×1
00mリレーでの決勝
進出を目標にしていま
したが、残念ながら準
決勝敗退でした。しか
し、全国の舞台でチー
ムベストを出すことが
でき、一生記憶に残る
とても貴重な経験をさ
せてもらいました。

今回のインターハイ
では、明訓陸上競技部
として一定の結果を残
すことができました
が、決して満足はして

いません。それは様々な面で自分たちの足りない部分を再認識することができた大会であったからです。今年は幸い、陸上競技部員全員がインターハイの会場で雰囲気味わうことができたので、それを今後、活かし、全国

での総合優勝を目標に現状に満足することなく、謙虚な姿勢で努力してもらいたいと思います。

最後に今までご指導して下さった先生方をはじめ応援して下さいの皆様、本当にありがとうございました。



入賞してインターハイ出場を決める

ダンス部 全国大会に出場して 審査員賞受賞

ダンス部主将 小嶋夏実

私たちダンス部は、八月六日〜九日に行われた第二十七回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）において、作品「Media-Confusion」を上演し、審査員賞を受賞することができました。これ

は、昨年に続く三度目の受賞となります。多くの方々のご意見やご声援のおかげで、私たちは仲間を信じ納得のいく作品を作り上げることができました。

テーマを追求する過程では、自分の意見に

自信が持てず、他人に伝えたいことが上手く整理できないことがありました。そんな状況は、踊りや表現、チームにも大きく影響し、本来の良さを消してしまふことさえありました。この状況から抜け出すためには、自分自身の意志をしっかりと持ったことです。それは、私たちが作品に込めた「芯の強さを持つ」という意味を知るきっかけにもなりました。一人ひとりが答えを持ち、練習に臨むことで作品もチームも良い方

向に進むことができたと思っています。

私たちは、自信を持って全国の舞台に立てたこと、そして良い結果を残せたことを誇りに思います。このように、私たちが受賞することができたのは、応援してくださった方々の存在があったからです。この場を借りて、心より感謝申し上げます。これからも、この誇りと感謝の気持ちを持ち、より一層努力していきます。今後とも新潟明訓高校ダンス部をよろしく願っています。



ダンス部 作品「Media-Confusion」審査員賞を受賞

「写真提供（株）フォトスタジオ八木」



ダンス部 作品「Media-Confusion」審査員賞を受賞

「写真提供（株）フォトスタジオ八木」

剣道部

煌めく青春南関東総体
2014に出場して

剣道部顧問 玉虫 一憲

現在剣道部は三年生を含め男子十九名、女子十名の合計二十九名で活動をしています。

6月に行われた新潟県高等学校体育大会では、団体戦において男女とも残念ながら準決勝で敗退し、三位という結果に終わってしまいましたが、個人戦男



ベストを尽くした満足な笑顔

子の部で三年生の早川郁也が準優勝し、インターハイの出場権を獲得、また、同じく三年生の青山恭大がベスト8に入り、北信越大会の出場権を獲得する活躍を見せてくれました。

ハンドボール部

初のインターハイ出場

ハンドボール部顧問 鈴木純一

ハンドボール部は、新潟県総体を優勝し、初のインターハイに出場することができました。そして、インターハイで一勝することができました。

私たちハンドボール部は、勉強と部活の両立を目指し、明訓高校

早川選手の出場したインターハイの男子個人戦は、8月2日に神奈川県小田原市の小田原アリーナにおいて開催されました。早川選手は一回戦がシードであったため、一回戦を勝ち上がった強豪茨城県の代表選手と戦うこととなりました。試合では、早川選手の持ち味であるスピードのある鋭い技で果敢に攻めたのですが、時間内では決着がつかず、延長戦でほんの少しの隙を

打たれてしまい、二回戦敗退という結果に終わりました。

結果だけをみると決して満足のいくものとは言えませんが、応援にかけつけてくれた生徒・保護者も大きな声で声援をおくり、明訓高校剣道部として一丸となって最後まで全国の舞台で戦うことができたことや、試合で自分の持てる力を全て発揮してやり終えた満足した笑顔を見ることができたことを嬉しく思

岡大手を振り切ることができました。歓喜の瞬間でした。選手、ベンチに入れなかった選手達と共に、苦しい練習を乗り越えた結果です。インターハイ初戦では、島根代表の強豪校の松江工業高校と対戦しました。28対17で勝利しうれしい全国初勝利でした。記念すべき全国大会を白星で飾ることができました。2回戦は徳島県代表、徳島市立高校と対戦しました。26対41で負けました。選手は勿論、応

いました。

今回、インターハイに出場できたことを自信とし、新たなスタートとしてこれからもより一層精進していきたいと思っております。

最後になりましたが、今回のインターハイに

出場に際しまして応援をしてくださった多くの方々はこの場を借りて御礼を申し上げます。これからも、日々努力を重ねていきますので、ご指導、ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

でした。力を出し切りました。

今回、インターハイ出場したことは、明訓ハンドボール部にとつ



初のインターハイ出場を果たして全部員でガッツポーズ

て、大きな経験と糧になりました。私たちは、新しいオフエンス、ディフェンス戦術を取り入れながら、試行錯誤して参りました。全国で通用したことを生かし、新チームでも一層精進して行きたいと思えます。これからも努力をし、

二年連続インターハイに出場目指し、全国ベスト16を目標に掲げております。ご指導、ご

鞭撻をよろしく願います。
今回のインターハイは川崎で行われましたのでたくさん



必勝を誓って円陣を組む

の明訓ハンドボール同窓生が応援に来ていただきました。この場を借りて厚く御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

放送部

明訓初

全部門から全国大会へ！

今年は長い明訓高校放送部の歴史の中でも初めて、NHK全国高校放送コンテストで全部門から全国大会へ出場することができました。アナウンス部門で3位と4位、朗読部門で1位・2位・3位・6位・奨励賞、テレビドラマ部門で1位、テレビドキュメント部門

で奨励賞、ラジオドラマ部門で2位、ラジオドキュメント部門2位です。部員達の努力がこういう形に残せたことを嬉しく思います。
7月21日から24日に東京でNHK全国高校放送コンテストが行われました。今回は県大会に出場していない生徒も今後の勉強のため

に連れて行きました。選手はもちろん、そういった生徒にも大きな刺激になったようです。印象に残った作品の感想や批判を周りの部員達と楽しげに真剣に話す様子は、それを何よりも物語っていました。

日の総括的な感想も記録することにしていきますが、その中に、『全国他県の選手の発表を聞いて自分が発表するのが恥ずかしくなりました。』とあったのが印象的です。新潟県は他県に比べると放送部員が少なく、他県よりも全国に進出しやすい環境にあります。新潟県大会だけを見て、全国大会に出るとい目標に留まらず、全国



NHK ホール前で喜びのVサイン

を常に意識しながらも上を目指して欲しいと部員には願っています。
日頃の活動につきまして、多くの方からのご協力、ご支援をいただきました。この場を借りて心より感謝申し上げます。放送部員一同、これからも日々努力を重ねていきます。

将棋部 いばらき総文祭に参加して

将棋部顧問 田中 徹

5月に行われた県予選での決勝では、大将戦で劇的な勝利を収め、団体として初めて全国大会出場を決めました。本大会は7月26、27の二日間に渡り、茨城県武道館(水戸市)において行われました。一日目は予選4戦行い、3勝で予選通過の

システムにおいて、本校は2勝2敗と惜しくも予選で敗退となりました。初めての全国大会の空気の中で、普段なら瞬時に判断できる指し手も、指先が震えて他の手を指してしまふという場面もありましたが、相手の選手も平常心を保てた方が勝利を収めたようです。選手は感想戦でも自分の課題を一生懸命探していました。当日NHKからインタビューされたものは9月に短い時間ながらも全国放送され、大



大会会場前で記念撮影



作品「ぬくもり」
詩部門の奨励賞を受賞

二〇一三年度の新潟県高等学校文芸コンクールにおいて、「ぬくもり」という作品が詩部門の奨励賞を受賞し、全国高等学校総合

文化祭(総文祭)に新潟県代表として推薦していただきました。文芸部は今年度が初参加となり、参加したのは三年生の熊倉李瑚

文芸部顧問 土屋 静香

文芸部 いばらき総文祭に参加して

いに励みになりました。今回は出場するだけで満足していたような面もありますが、驕ることなく来年も出場しようと新たに誓いを立てました。

現在秋の新人戦(個人戦)に向け研究を重ねている毎日です。今後ともご声援よろしくお願いいたします。

現在生物部は2年生12人、1年生7人の計19人で活動しています。基本的な活動としては様々な生物の飼育、個人研究などで、長期休暇には山や海な

生物部部长 豊岡 愛弥

生物部 全国大会「いばらき総文2014」に参加して

どに合宿に行きます。文化部ですが校外外で広く活動しており、たくさんの人と出会い、学び、充実した日々を送っています。今年度も新潟県を代

で、「自分にとって大切な人たちと、言葉をいわずとも、手をつなぐことで感情を伝え合うことができる」ということを詩で表現しました。

今年度の開催地は茨城県で、文芸部門は東海村が会場となりました。七月二十八、三十一日の三泊四日の滞在中、二日目に行われた「文学散歩」では、様々な美術館や資料館をまわることで、茨城の文学に触れることができました。三日目の「部門別交流会・分科

会」では、詩部門に参加していた全国の高校生と詩を鑑賞し合うことにより、創作意欲を高めることができました。また、講師の先生から一作品ずつご助言をいただき、自らの詩をよりよくするための方法を学ぶことができました。

多くの方々から応援していただきましたことを、この場をお借りして御礼申し上げます。今後とも文学と向き合い、深めるべく、創作活動に励んで参りたいと思います。

表して全国大会に出場してきましたので、ご報告させていただきます。文化部の全国大会である「全国高等学校総合文化祭」は今年、茨城県つくば市で行われました。7月28日から31日の3泊4日の滞在の中で、つくばの様々な場所をめぐり、また、全国からの参加者や現地の方々と交流してきました。



大会会場前で記念撮影

今回発表してきた研究は「DNA比較によるアザの遺伝的な個体数推定」というものです。発表の内容は北山池、福島瀧などに生息しているアザのDNAを比較して遺伝的多様性を調べるというものです。残念ながら優勝はのがしてしまいましたが、全国のレベルを肌で感じ、とても貴重な体験をすることができました。多くの方々からご支援いただきましたこと、この場をお借りして心より御礼申し上げます。今後も活動に熱心に取り組んで参りたいと思います。

終身會費納入者御芳名

（敬称略）

平成二十六年八月三十一日現在

平成26年卒
全日制65回

1組 (47名)

塚 越 竹 高 関 関 鈴 鈴 清 佐 佐 佐 酒 齊 小 呉 加 加 大 大 榎 岩 猪 有 有 浅 上
野 内 橋 川 木 木 水 野 藤 藤 井 藤 林 井 納 藤 桃 竹 並 城 飼 本 馬 香 石
る な 悠 彩 貴 元 実 健 大 春 桃 衣 瑞 秀 明 菜 大 隆 慎 万
り つ み 洗 也 佳 章 基 於 翔 朗 輝 菜 愛 子 純 希 哉 子 奈 恵 智 輔 由 子
こ 恩 葵 翼 汰 也 佳 章 基 於 翔 朗 輝 菜 愛 子 純 希 哉 子 奈 恵 智 輔 由 子 薫

古 小 黒 木 河 風 岡 大 石 五 阿 2組
 泉 泉 井 了 本 間 村 場 塚 嵐 部
 佐 真 春 沙 美 望 雄 夏
 華 奈 那 彩 綾 温 織 愛 海 太 子

渡 吉 横 山 山 南 南 皆 三 三 本 堀 星 平 樋 春 野 西 中 長
 邊 田 山 本 岸 川 富 國 間 井 山 口 川 村 村 田 澤
 真 彩 絵 里 大 梨 開 理 敦 千 奈 菜 あ 遥 あずさ 真 利 朋
 歩 恵 香 瞳 造 奈 都 子 志 晃 秋 美 摘 い 子 恵 さ 愛 亜 枝

山本寛之	山本智恵美	山下克大	山下貴大	山崎奨汰	山上裕華子	松木史晶	本間慎太郎	本多広樹	星野純	古川麻依子	藤田俊輔	平山敏樹	日野樹	濱田樹	長谷川航	長谷川史	西川良	寺田薰	土田李	高橋若菜	高橋梨佳	鈴木かほり	嶋津友也	塩原ひと美	佐藤陽平	坂上楓佳	酒井契	齋藤諒	齋藤友佳	齋藤健
------	-------	------	------	------	-------	------	-------	------	-----	-------	------	------	-----	-----	------	------	-----	-----	-----	------	------	-------	------	-------	------	------	-----	-----	------	-----

水野康平	松本亮太	松原伽奈子	前田悠佑	古川晴貴	廣野耕己	波多聖也	成田心吾	並木雄次	長野雅和	内藤貴生	高口琴乃	関根花菜美	杉山陽菜子	菅沼天悟	笹川健太	櫻藤優太	齋藤太	黒井悠太	桐生哉花	川崎周輝	神谷有輝	加賀谷ななほ	大日方結可	小野哲義	岡田大海	大場裕輔	大久保峻平	永木太郎	内山祐樹	阿部美絃	阿部圭吾	安達侑希	青木翔太	3組(42名)	渡邊龍哉	渡辺友裕	渡辺愛理
------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	------	------	------	-----	------	------	------	------	--------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	---------	------	------	------

諸 橋 萌 香	村 山 加 奈	宮 島 理 央	宮 島 勝 遼	本 望 勇 也	本 間 輝 健	本 間 佑 太	保 科 優 朗	樋 口 智 紀	長 谷 川 瑞 規	西 方 波 紗 也 子	難 山 島 航	中 島 梨 花	中 川 涼 介	中 山 智 視	外 井 理 紗	坪 田 も も こ	土 田 友 香	種 田 音 々	坂 井 久 留 美	桐 生 真 由 子	神 田 史 弥	金 子 塚 萌	金 塚 優 弘	片 桐 和 桃	小 柳 陸 香	大 矢 美 美	薄 井 友 泰	稲 月 紗 彩	市 川 義 貴	石 塚 雪 妃	井 川 拓 斗	阿 部 雪 斗	赤 澤 拓 介	相 田 康 介	4組 (43名)	渡 邊 未 来	山 本 瑛 尚	山 崎 司 奈	宮 本 佳 成	宮 尾 益 成
------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-----------------------	----------------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-----------------------	------------------	------------------	-----------------------	-----------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------

松井綾子	増井拓未	細野立貴	星井歩夢	藤澤佳史	深澤周平	樋口侑作	長谷川武尊	中矢大和	鶴巻諒也	辻川奈緒	高澤祥平	関崎みふい	椎谷祐太郎	坂上侑太郎	酒井秀涼	兒島將汰	小泉也惇	小池立也	川上諒太郎	鍛冶祐太	岡田佳子	岡田由佳	大沼将和	池田友麻	新木健志	荒井龍平	畔野見脩	浅澤脩太	相澤学	5組 (40名)	渡里秋介	渡邊了介	渡辺哲堂	吉田留菜	吉川千尋	横山恵都子	山田未希	梁取昌史
------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	-------	-------	-------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	-------------	------	------	------	------	------	-------	------	------

野村莉以	中島卓哉	釣巻拓真	土田好夏	タナツク フランク	田中絢子	只野裕哉	田代夢賀	高橋直樹	高橋祥二	高橋亜弥	高澤佳子	曾我奏哉	佐藤智哉	坂井裕和	齋藤麻鈴	齋藤真優	齋藤日和	小師嘉苑	小池深香	小川真以子	梅田拓弥	岩崎翔太	今井望倭子	泉田舞	井嶋桃子	石田千晶	安澤詩織	阿部友亮	阿部穂穂	阿部悟	6組 (46名)	渡邊拓朗	渡邊康平	若本大地	山田真悠人	山田琢郎	八巻拓郎	水澤佑太	三浦潮
------	------	------	------	--------------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	-------	-----	------	------	------	------	------	-----	-------------	------	------	------	-------	------	------	------	-----

田岡駿大	住白井	島影	佐々木	桜井	小林	小倉	熊倉	桐生	川島	川口	加茂	亀谷	風間	小川	小川	岡本	岡村	太田	太田	大澤	大倉	磯部	磯部	石井	7組 (43名)	渡辺雅人	渡邊晴野	渡邊晶子	和田可美	若月優哉	山村純一	村山銀河	向井伊織	宮本侑	丸山	丸山	廣田	波田	早桃
------	-----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-------------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	----	----	----	----	----

田島亮太	竹内薫	高田大輝	進井和太	島本光希	柴田祐太郎	佐野優樹	斎藤辰也	駒澤牙	小藤悦久	熊倉茂喜	加藤智斗	笠原弘貴	笠沼遼輝	貝矢純	大谷俊輔	岩淵弘憲	伊藤丈惠	出塚千恵	石塚皓	8組 (41名)	四柳春佳	吉原侑星	吉沢幸花	横井恵海	山田千夏	山際諒	八木竜之介	宮島彪牙	三澤駿一	船見宏一	藤間魁人	林航大	服部朗	仁多厘緒	中島涉	田中章太郎	多田文也
------	-----	------	------	------	-------	------	------	-----	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	-----	-------------	------	------	------	------	------	-----	-------	------	------	------	------	-----	-----	------	-----	-------	------

武石	高井	鈴木	佐藤	佐藤	佐々木	櫻澤	斎藤	古賀	小泉	監物	角田	小野	小熊	大野	大野	遠藤	永塚	石田	阿部	9組 (38名)	渡辺	山田	村上	宮坂	水落	松田	本間	堀野	星松	平尾	平原	西澤	新飯田	中沢	鳥辺	土屋
康伸	ありす		穂波	鴻輝	蓮輝	陽輝	隆平	美桜	知佳	泰裕	翔京	良平	春奈	遥花	咲貴	未知流	隼人	達也			匡彩	翔太	健太朗		哲朗	裕汰	辰吉	大地	大也	大加	萌縁		悠太	祥太	大生	将大

同窓会ホームページと交流掲示板

同窓会ではホームページを開設しています。同窓会総会のお知らせなどはホームページでお知らせ致します。ぜひ一度、同窓会ホームページをご覧ください。

また、ホームページ内に「交流掲示板」を開設しましたので、このサイトは明訓同窓生の部活、OB、OGの活動情報や同期会情報など自由な情報交換の場としてご利用下さい。

<http://niigata-meikun-dousoukai.com/index.html>

長谷川 南 中 中 中 富 千 竹
川 場 山 村 浜 井 鳥 内
千 某 愛 太 壮 義
怜 佳 郁 奈 子 啓 郎 貴
渡 吉 山 山 森 目 宮 帆
邊 澤 田 田 川 黒 莉
涼 瑞 柘 大 みの 幹 一 な
太郎 真 未 地 り 也 晴 子
伊 伊 井 石 新 阿 足 10
藤 藤 嶋 崎 野 部 立 組
宇 夏 恵 麻 俊 (37
望 蘭 祭 子 里 菜 哉 名)

◎合 計

二、五四四、〇〇〇円

◎終身会費

全日制65回生 424名

二、一二〇、〇〇〇円

◎入会金

全日制65回生 424名

四二四、〇〇〇円

平成二十五年 度 会費納入状況

小 小 桑 倉 衣 柿 岡 大 大 江
出 池 原 島 川 原 田 竹 場 口
佳 比 竜 千 正 佳 健 拓
耀 菜 奈 哉 晶 紀 輝 太 人 遥
名 茅 田 高 高 関 佐 佐 小 小
護 原 中 橋 木 谷 藤 々 林 海
公 真 龍 和 政 代 拓 洋
智 晃 史 朗 大 志 凌 紫 也 耀 樹
和 山 矢 森 真 深 樋 樋 林 波
田 本 川 田 壁 澤 口 浦 形
幸 貴 耕 伶 葵 亜 あり
大 翠 大 朗 佑 雅 子 瞳 沙 さ

会務報告

一 会 議

(一) 総 会

平成25・10・19(土) 16:00

於 ホテルイタリヤ軒

・アトラクション 17:00

昭和48年卒 本間 亮氏結成の
ロックバンド「ベガーズ・パン
ケット」による演奏

・懇親会 17:40

(二) 常任委員会

平成26・7・11(金) 18:30

於 新潟東映ホテル

・平成26年度 総会開催について
協議

(三) 副会長会議

平成25・10・15(火) 18:30

於 新潟会館

・平成25年度 総会開催運営につ
いて協議(最終打ち合わせ)

平成25・11・14(木) 19:00

於 新潟会館

・総会開催の結果報告と今後の課
題について

・事業計画と役割分担について
・首都圏新潟明訓会及び関西新潟
明訓会 総会開催の報告

平成26・2・19(水) 17:30

於 ホテルイタリヤ軒

・平成26年度総会開催並びに同窓会
歓迎会及び卒業式について協議
・新年懇談会(学校管理者及び同
窓会担当教職員の方々を招いて)

平成26・6・10(火) 18:30

於 新潟会館

・常任委員会並びに総会開催につ
いて協議

平成26・9・18(木) 18:30

於 ANAクラウンプラザ
ホテル新潟

・常任委員会並びに総会開催につ
いて協議

二 その他

平成25・10・5(土) 12:30

於 太閤園

・関西新潟明訓会 総会・懇親会
が開催される

本部より大倉副会長、首都圏新
潟明訓会より秋葉会長・奥田副
会長が出席、学校より竹之内副
校長の出席をいただく

平成25・11・17(日) 13:00

於 ANAインターコンチネンタル
ホテル東京

・首都圏新潟明訓会総会・懇親パ
ーティが開催される

本部より渡辺会長、林・渡邊両
副会長、関西新潟明訓会より阿
部副会長が出席、学校より大滝
校長の出席をいただく